

ありあけ新世高校（福岡県大牟田市）生徒による校内発表 及び相馬高校新聞部生徒による発表について

去る10月4日（火）～6日（金）の2泊3日で、本県を訪問し沿岸部被災地の現状視察や相馬高校新聞部生徒との交流、農産物の放射線測定状況の視察を行った「福岡県立ありあけ新世高校」の生徒4名が、12月16日（金）に行われた校内発表会において今回の視察結果についてプレゼンいたしました。

その際、相馬高校生新聞部生徒3名が同校を訪問し、福島の現状などについて自らの取材活動を通じた発表を行う機会が設けられました。

【日程・場所・発表者】

○日 時 12月16日（金）総合学科発表会 9時30分～13時00分

○場 所 大牟田市文化会館大ホール

○ありあけ新世高校（本県訪問の被災地支援プロジェクトメンバー（3年））

くまあすか さん、すえふしまゆ さん、なかむらえりこ さん、たなかみき さん
久間明日香さん、末藤真優さん、中村恵理子さん、田中美樹さん

○相馬高校新聞部

おおがいわたる さん、わだやま さん、ねもとなおみ さん
大谷 亘さん（2年）、和田山きらりさん（2年）、根本奈央美さん（1年）



【ありあけ新世高校発表概要】

○福島県の現状は、想像をはるかに超えていた。

○「東日本大震災から5年が経過した」ではなく「東日本大震災本震から5年が経過した」というべきだ。

○浪江では、3月12日の新聞が入っているのを見て、その日から家に帰ることができなくなった人がいると思うと鳥肌が立った。

○小高では、和田さんがガラス細工のお店を作るなど、魅力的なまちづくりを進めている。

○南相馬から浪江に通って花農家をやっている川村さんを訪問しお手伝いをした「この花がきれいに咲くことで、きっと福島の未来を明るくしていくのだろう」と思った。

- そんな頑張っている人々を見て「応援していきたい」と思った。
- 相馬高校生から「福島出身というだけで周りからどう思われているか怖かった」など話を聞いて驚いた。震災を100%理解することはできないが、少しでも理解しようとする努力はできる。
- 今回の視察で、「大量の黒い袋はどこへ行くのか」「福島に対して悪いイメージを持って欲しくない」「他人事だと思わない」「震災のことを絶対に忘れない」と決意し、「多くの人に今の福島を知って欲しい」「福島にいつも関心を持って関わっていきたい」と思った。
- そして、自分たちができることは「伝えること」だ。きちんと検査していることなど、そして、福島のリンゴやお米がとてもおいしいこと。
- 自分たちの活動に双葉町の人から「今は会津に避難しているが、私も頑張るから10年後に来て復興した姿を見て欲しい」との手紙をいただいた。
- 福島に行くことで喜んでくれる。また福島に行きたいと思った。
- 私たちは、社会のいろいろなことに関心を持ち、自分に何ができるのかと問いかけ、そして行動していくことの大切さを学んだ。本校の校是を心に刻んで社会に貢献できる人間でありたい。
- 福島で見た景色、感じた風を忘れず、これからもずっと福島を見続けていかなければと思っている。

【相馬高校発表概要】

- ・相馬高校新聞「わかこま」の紹介（次の次のページ）
 - ・福島県知事、福島県教育長からのメッセージ披露
 - ・[「ふくしままっぴ」](#)の紹介
- ↑クリック



【福岡県立ありあけ新世高校】

- ・学 科：総合学科（全日制・115科目から選択履修）、普通科（定時制）
- ・生徒数：約560名（男：女=1：4）（全日制）
- ・沿 革：三池農業、大牟田商業、大牟田南が合併し2003年(H15年)設置

<10月の視察概要>

1 訪問者

- ・福岡県立ありあけ新世高校3年生（被災地支援プロジェクトメンバー）
くま あすか さん、すえし まゆ さん、なかむら えりこ さん、たなか みき さん
久間明日香さん、末藤真優さん、中村恵理子さん、田中美樹さん
- ・福岡県立ありあけ新世高校 校長 木本 和宏 氏
// 教諭 松本 雅子 氏 ほか

2 本県訪問の趣旨等

震災5年の報道特番の視聴をきっかけに「被災地を訪れ、高校生なりにできる支援を考えたい」という生徒たちの気運が高まり、

- ①大牟田のフラワーショップと連携した花のオブジェの製作・販売
- ②オブジェ販売の収益を活用した福島視察の企画

によって訪問が実現。



3 行程概要

1日目 10月4日（火）

『相馬高等学校新聞部との交流プログラム』

- ・13:30頃 小高駅前周辺視察 ※1、2
- ・14:30頃 浪江町請戸地区視察 ※2
- ・15:50頃 南相馬ソーラーアグリパークにて相馬高校新聞部と交流 ※2
おおが いわたる さん、わた やま さん、ねもと なおみ さん（武内義明教諭）

※1）小高ワーカーズベース和田代表 ※2）あすびと福島（南相馬ソーラーアグリ）沖沢氏

2日目 10月5日（水）

『浪江町視察プログラム』

- ・8:00頃 浪江町内の視察や農家訪問

『県庁幹部表敬訪問』

- ・17:15-25 知事表敬
- ・17:35-45 教育長表敬



3日目 10月6日（木）

『食の安全・安心の取り組み視察プログラム』

- ・9:20頃 県農業総合センターで農産物の安全検査の取り組みを視察
- ・9:50頃 食に関するNPO法人（※3）からのレクチャー（米の試食）

※3）NPO法人素材広場横田代表



43

相高わかこま

県立相馬高等学校
出版局
平成28年
12月13日(火)
28年度第43号
編集人大谷 亘
発行人 和田山きらり

15日二学期終業式

引き続き「冬季課外」へ

15日に2学期の終業式が行われ、明後日から冬季休業に入る。(終業式の日程は下の通り)
4校時まで授業を行い、大そうじの後に終業式に臨むことになる。式では校長先生の話のほか、教務、進

29日から1月3日までは年末・年始の休みとなり校舎内には立ち入れないので注意が必要だ。
3学期の始業式は、1月

10日(火)となっている。例年通り、始業式の後は頭髪・服装の指導、課題確認テストを行う予定となっている。

15日(日)のセンター試験を控えて、最後の準備を行う。

終業式日程

- 1校時から4校時まで
縮45分授業
(通常木曜日の時間割)
- 12:15~12:50 昼休み
 - 15:50~13:20 大そうじ
 - 13:20 体育館入場
 - 13:30 表彰伝達式
 - 13:40 始業式
 - 各先生方から話
 - 諸連絡
 - 式終了
 - 14:30 LHR
 - 14:30 放課

明後日 大牟田市に出発

ありあけ新世高と交流

出版局

出版局が、15日(木)に福岡県大牟田市のありあけ新世高校に向けて出発する。これは10月4日(火)に、福岡県立ありあけ新世高校の4人が南相馬市の被災地

県内の実情について発表

大牟田市文化会館で行われる「成果発表会」では、「被災地支援チーム」が南相馬市の訪問などの取り組みを発表する。
福島県内訪問だけでなく、ボランティア活動、募金活動など幅広い活動を発表する予定。相馬高校から

福島県内の様子や「わかこま」の紙面などについて発表する。

発表の最後に福島県知事からのメッセージを披露することになっている。

また、大学入試センターは12月7日に全体の出願者数を公表した。それによると出願者総数は57万5966人で、昨年比で1万2000人あまり増えている。現役の高校3年生の43.9%が出願したことになる。

- 12月15日(木)
 - 10:25 仙台空港発 12:40 福岡空港着
 - 地下鉄(福岡空港→博多駅)
 - 13:52 博多駅発(九州新幹線)
 - 14:22 新大牟田駅
 - 14:40 ありあけ新世高校訪問
 - 16:00 大牟田市近代産業遺産(宮原坑・大牟田港など)見学
 - 17:40 ホテル着
 - 19:00 夕食(福岡訪問の生徒と会食)
- 12月16日(金)
 - 9:00 ホテル発
 - ありあけ新世高校「総合学科発表会」に参加 福島県の現状を発表
 - 場所：大牟田市文化会館
 - 13:30 昼食
 - 14:26 新大牟田駅発 九州新幹線
 - 14:57 博多駅着
 - 地下鉄(博多駅→福岡空港)
 - 天神など博多市内見学
 - 17:05 福岡空港発 18:45 仙台空港

2面

常磐線下り方面が運行 10日(土)に新地駅で記念式典

年明け早々の1月4日にプレテストを行い、本番に備えることになる。

馬の城

先日、福岡市でタクシーが病院内に突入して、10人もの死者を出した事故が発生した。容疑者は運転していたタクシーの運転手。ベテランという。なぜ、このような事故が起ってしまったのか。▲容疑者は「ブレーキを踏んだら止まらなかった。エンジンブレーキをかけようとしたが減速しなかった」と供述しているという。しかし、タクシー会社では車の点検が定期的な義務付けられており、特にブレーキは重点的に点検するそうだ。ブレーキが使えないという事例はほとんどないという。▲では、問題は運転手の側にあつたのか。調べてみると、運転手は健康体であり、運転手歴30年以上のベテランだという。目撃者によると、事故後に運転手は車を降り、何が起きたのかわからないといった茫然とした様子だったという。よく言われる高齢者の判断力低下が今回の事故を招いたのだろうか。▲高齢者の運転手が年々増加している。高齢化社会の問題点の一つだ。安全な社会の構築のためにも、早急な対策が必要な課題だと思



▲センター試験用の電話回線工事が行われた。(9日)

相高会場 準備始まる

相馬高校は昨年に引き続き、センター試験会場になる見通しで、先週12月9日にはセンター試験会場用の電話回線の工事が行われていた。センター試験は1月14日、15日の2日間。

また、大学入試センターは12月7日に全体の出願者数を公表した。それによると出願者総数は57万5966人で、昨年比で1万2000人あまり増えている。現役の高校3年生の43.9%が出願したことになる。

常磐線

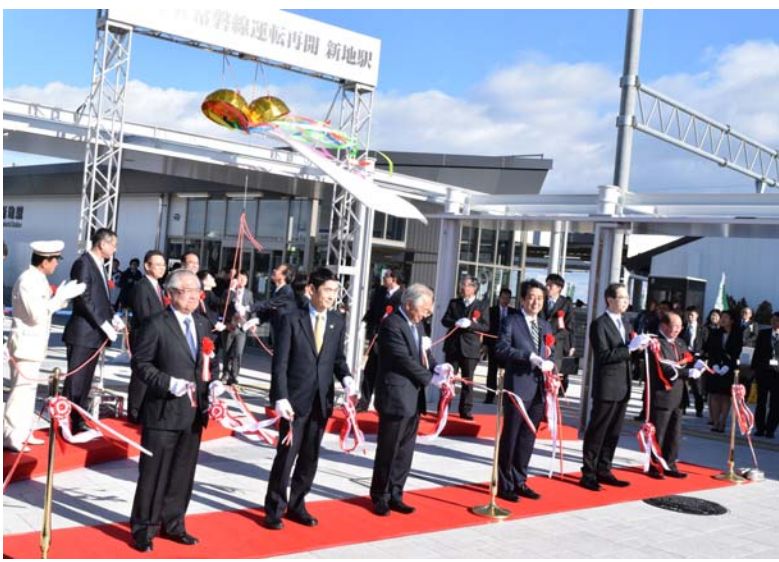
5年9か月ぶりに運転再開

10日(土)にJR新地駅で記念式典

震災の津波被害で不通となっていたJR常磐線の相馬―浜吉田間が12月10日(土)に開通し、相馬駅からの下り方面が5年9か月ぶりに運行されることになった。仙台方面に向かう際の利便性が高まった。津波で大きな被害を受けた新地駅舎も新しくなり、10日には安倍総理や県知事も出席して新地駅で記念の式典が行われた。(取材 大谷・和田山)

被災地復興に弾み

式典は新しい新地駅の駅前広場で午前9時20分から行われた。快晴だったが、冷たい風が吹く天候となった。安倍総理や内堀県知事、新地町長など関係者が出席して再運行を祝った。



▲運行再開を祝って安倍総理や内堀知事の手でテープカットが行われた。



▲高校生が自分たちで作ったワッフルを来客に手渡す。

新地高生がカフェ開設

新地駅では、新地高校生によるカフェが開設され、来場者にコーヒーやワッフルがふるまわれた。

「全国の皆さんに向けて、震災復興の取り組みについてお考えがありますか?」「全国の皆さん、世界の皆さんに共感を持ってもらえるような、今後も応援を続けてくれるような取り組みが大切なんです。私たちが県民の取り組みを継続し



▲震災直後の新地駅。電車が津波の影響で曲がっている



▲新しい駅舎に仙台行き電車が着いた。

仙台へ、一段と便利に

カフェに取り組んだ新地高校の横山勇太さん(3年)は「今までの駅周辺は寂しかった。少しでも盛り上げたいと思って参加しました。この企画は今年6月ぐらいから進めてきました。全員で15人ぐらいで取り組みました」と話してくれた。

相馬駅から北に向かう電車が再運行することで、新地町方面から相馬高校への通学が便利になる。いまま

60キロ級で東北大会へ

柔道

男子個人60キロ級 第3位 加藤光貴 (相馬高)

○全国高校柔道選手権大会 福島県大会 12月9日〜10日 いわき市南部アリーナ

相高スポーツ

柔道選手権 県大会

3位となった加藤光貴君(2-5)は、東北大会への出場権を得た。団体戦では2回戦で光南高校に惜しくも破れベスト8にとどまった。また、個人戦でも各階級でベスト8に入る健闘をみせた。

東北大会は1月28日、29日に郡山市総合体育館で行われる。

校内のトイレ

皆で快適に使おう

校内のトイレの使い方が悪く、使用禁止になっている箇所がある。もちろん使用禁止で不便は増すが、嫌な思いを不特定多数の人にする方が問題だ。トイレは本来だれが使ってもいいし、安全で快適な場所でありたい。誰もがお世話になる公共の場所であることを確認し、改めて校内のトイレの使い方についての意識を共有したい。

心のバロメーター

トイレの清掃を担当している人もいる。他の箇所と違った苦労もあるはずだ。使い方や清掃担当に迷惑はかけられない。誰も見ていない所で、自分を律することが出来るのが公共心だ。トイレの状態は心のバロメーターともいえる。